

国産原材料サプライチェーン構築事業に関する事業評価シート

都道府県 名	市町村名	事業実施 主体名	取組名	事業実施 年度	成果目標 の具体的 な内容	成果目標関係						整備事業	事業評価 の検証方 法	費用対効果分析関係		事業計画 の妥当性	適正な 事業執行	地方農政局長等の意見
						生産者～中間事業者			中間事業者～食品製造業者等					計画値	結果			
						現状値 (20年)	目標値 (令和2年)	実績 (令和2年)	現状値 (20年)	目標値 (令和2年)	実績 (令和2年)							
高知県	高岡郡 四万十町	四万十の 栗再生プロ ジェクト推 進協議会	栗	21年度～ 23年度	国産原材 料の供給 力の向上 (協議会内 出荷量を 10%以上 増加させ る)	-	43%	-17%	-	100%	16%		生産者から 製造業者ま で各段階に おける集 荷・出荷ま でを集出荷 伝票等にて 検証			1	1	成果目標は達成していない。 これは近年の天候不順と台風による生産量の減少が要因である。 生産者から食品製造業者まで全量を出荷しており、本事業の本旨であるサプライチェーンの構築は実現している。 なお、前回の評価年の平成30年以降の栗の生産量は増加しており、これまでの取組は効果を発揮していることから、引き続き、栗の生産量の増加に向けた指導を行うこととする。

産地活性化総合対策事業のうち地域コンソーシアム支援事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜産物名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況										評価機関名	中国四国農政局
					販売額	増加販売額	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	目標値	達成率		
							平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
愛媛県	西条市 新居浜市 四国中央市	東予地域デルフィニウム産地活性化促進コンソーシアム	花き デルフィニウム	平成26年度	28,647千円	2,762千円	25,885千円	23,603千円	22,618千円	23,859千円	17,333千円	22,944千円	12,817千円	13,275千円	28,647千円	~456.6% 未達成	・高冷地育苗の栽培技術及び定植時の温度管理技術の実証 ・栽培講習会の開催 ・ブランド化に向けた検討会やPR活動の実施 ・パンフレットの作成 等 改善指導を行ったが、生産者が病気や高齢化による作業負担を理由に激減しており、既存の生産者も収益性の高い野菜等に転換するなど維持すら困難な状況である。さらに、近年の高温による影響で、早期抽だいが多く発生し品質が低下し成果目標の販売額の増加につながらないことから、事業実施主体から評価終了の改善計画が提出された。 改善計画の内容を確認したところ、実施要綱第7の3（2）に該当するものとして評価を終了することはやむを得ないと判断する。	

別紙様式第 5 号

新品種・新技術活用産地育成プログラムに関する事業評価票

都道府県 名	市町村名	事業実施 主体名	対象作物 ・畜産物名	事業実施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況								具体的な 取組内容	地方農政局長の意見
						基準年 平成26年度	1年目 平成28年度	2年目 平成29年度	3年目 平成30年度	4年目 平成31年度	5年目 (目標年) 令和2年度	目標値	達成率		
愛媛県	松山市	「紅い雫」 産地化推進 コンソーシ アム	いちご	平成28年度	販売額988,000千 円 (増加販売額 98,254千円)	889,746千円	912,000千円	942,400千円	957,600千円	972,800千円	913,886千円	988,000千円	24.6%	・産地化推進会議の開催 ・実証ほの設置 ・高品質生産マニュアル の作成、配布 ・P R活動の実施	新品種である「紅い雫」については、基準年から比べると栽培面積、出荷量、販売額いずれも増加傾向にあるが、令和2年度にあつては天候不順やコロナ禍の影響もあり、目標達成に至っていない。特に、栽培面積が基準年から約6haも減少していることは目標未達成の大きな要因の1つと考えられることから、課題解決を図るとともに、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。

大豆・麦・飼料用米等生産拡大支援事業（作付体系転換支援事業）に関する事業評価票

都道府 県名	事業実 施 主体名	対象作 物	事業実 施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況								具体的な取組内容	事業実施主体の評価	地方農政局長等の意見
					基準年	事業開始 年度	事業開始 1年後	事業開始 2年後	事業開始 3年後	事業開始 4年後 (目標年)	目標値 (平成31 年)	達成率			
					平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年					
愛媛県	愛媛県	大豆	平成28 年度	大豆の単収を事業 開始前年度（前5 中3）と比較し、 1割増加。 （大豆の単収：現 状137kg／目標151 kg／10a）	単収 (kg/10a) 137	単収 (kg/10a) 93	単収 (kg/10a) 89	単収 (kg/10a) 83	単収 (kg/10a) 142	単収 (kg/10a) 172	単収 (kg/10a) 151	250%	・大豆生産拡大検討会の開 催 ・大豆の現地実証圃の設置 ・栽培技術マニュアルの作 成 ・大豆生産拡大研修会	単収の達成率は250% と、適正に事業の執行 を行った。	適切に事業実施し、 目標を達成してい る。

※品種：はつさやか
※今後の新たな有望品種：四国30号、四国31号

産地活性化総合対策事業の薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業(薬用作物産地確立支援事業)に関する事業評価票

【再評価】

都道府県名	事業実施主体名	対象 品目名	事業 実施 年度	成果目標の達成状況(成果目標:栽培面積(a)、生産量(トン))																		事業内容 〔 具体的な 取組内容 〕	地方農政局長の意見		
				基準年 平成22年		1年目 平成26年		2年目 平成27年		3年目 平成28年		4年目 平成29年		5年目 平成30年		6年目 令和元年		目標年 令和2年		目標値				達成率 (%)	
				栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)			栽培面積 (a)	生産量 (トン)
岡山県	井原市地域耕作放棄地対策協議会	シャクヤク 【生薬名:シャクヤク】 (3年)	H26	8	0.1	13	0.1	38	0	41	0	57	0	68.5	0	85.3	0	103.3	1.1	80	0.1	129.1%	1100.0%	・検討会の開催 ・実証ほの設置(5a) 薬用植物資源研究センター北海道研究部から苗(品種名:北宰相、新品種名:べにしずか)を入手し、栽培実証。	栽培技術が確立したことで目標を達成した。
都道府県名	事業実施主体名	対象 品目名	事業 実施 年度	成果目標の達成状況(成果目標:栽培面積(a)、生産量(トン))																		事業内容 〔 具体的な 取組内容 〕	地方農政局長の意見		
				基準年 平成22年		1年目 平成26年		2年目 平成27年		3年目 平成28年		4年目 平成29年		5年目 平成30年		6年目 令和元年		目標年 令和2年		目標値				達成率 (%)	
				栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)			栽培面積 (a)	生産量 (トン)
香川県	株式会社GRプラント	ミシマサイコ 【生薬名:サイコ】 (1年)	H26	0	0	80	0.4	200	0.5	250	0.3	300	0.5	200	0	200	0.02	200	0.02	300	1.5	66.7%	1.3%	・検討会の開催 ・実証ほの設置(5a) ・栽培マニュアルの作成	雑草防除体制の確立が難しいこと等から栽培面積の拡大ができず目標の達成に至っていない状況。 改善指導を行ったところ、雑草防除の手間が比較的少ないサフランを対象品目に加えた目標に変更する改善計画が提出された。 確認したところ薬用サフランの生産・普及とともに出荷先の確保も検討しており、目標変更はやむを得ないと判断する。
都道府県名	事業実施主体名	対象 品目名	事業 実施 年度	成果目標の達成状況(成果目標:栽培面積(a)、生産量(トン))														目標値				達成率 (%)		事業内容 〔 具体的な 取組内容 〕	地方農政局長の意見
				基準年 平成23年		1年目 平成27年		2年目 平成28年		3年目 平成29年		4年目 平成30年		5年目 令和元年		目標年 令和2年									
				栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)				
山口県	山口県	・トウキ 【生薬名:トウキ】 (1～2年) ・シャクヤク 【生薬名:シャクヤク】 (3～5年) ・ミシマサイコ 【生薬名:サイコ】 (2年) ・ドクダミ 【生薬名:ジュウヤク】 (2～3年)	H27	0	0	57	0.69	112	1.57	155	0.66	182	4.18	213	5.7	290	6.3	340	7.3	85.3%	86.3%	・検討会の開催 ・実証ほの設置(57a) ・栽培マニュアルの作成(4品目)	ドクダミの栽培技術を確立できていないこと等から目標の達成に至っていない。 今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。		

都道府県名	事業実施主体名	対象 品目名	事業 実施 年度	成果目標の達成状況(成果目標:栽培面積(a)、生産量(トン))																		事業内容 〔 具体的な 取組内容 〕	地方農政局長の意見
				基準年 平成23年		1年目 平成27年		2年目 平成28年		3年目 平成29年		4年目 平成30年		5年目 令和元年		目標年 令和2年		目標値		達成率 (%)			
				栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)		
徳島県	株式会社みのりの森	・シマサイコ 【生薬名:サイコ】 (2年) ・ヨモギ 【生薬名:艾葉】 (2年)	H27	0	0	30	0.26	288	0.4	724	1.3	852	7.8	953	10.9	1118	14.9	1050	10.5	106.5%	141.9%	・検討会の開催 ・実証ほの設置(30a) ・農業機械の改良 ヨモギ移植機 ヨモギ刈取機 ヨモギ乾燥機 シマサイコ刈取機 シマサイコ掘取機 ・栽培マニュアルの作成	栽培方法の確立や販売価格の見直し によって、生産者及び栽培面積が増加 し、目標を達成した。

産地活性化総合対策事業の茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業(地域の生産体制強化・需要創出事業)に関する事業評価

都道府県名	事業実施主体名	対象 品目名	事業費 (うち国費) (千円)	成果目標の具体的な 内容	成果目標の達成状況						事業内容 (具体的な取組内容)	地方農政局長の意見
					基準年	1年目	2年目	目標年 (実績)	目標値	達成率		
					平成29年	平成30年	令和元年	令和2年		(%)		
山口県	山口県	・トウキ(種苗) 【生薬名:トウキ】 (漢方) ・トウキ(葉) (漢方以外)	1,573 (1,573)	実施地区において、事業で取り組む薬用作物の合計の栽培面積を5%以上増加(a)	3	3	2	2	18	11.1%	・検討会の開催 ・種苗等増殖実証ほの設置(4a) ・栽培マニュアルの作成 ・課題等解決のための調査/分析 ・マッチングの推進	水稻と薬用作物の効率的な栽培体系を確立することができず、目標未達となった。 今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。
				実施地区において、事業で取り組む薬用作物の合計の生産量を5%以上増加(t)	0.1	0.1	0.02	0.02	1.575	1.3%		
徳島県	株式会社みのりの森	ダイダイ 【生薬名:トウヒ、キジツ】	4,598 (4,268)	実施地区において、事業で取り組む薬用作物の合計の栽培面積を5%以上増加(a)	12	12	28	33	30	110.0%	・検討会の開催 ・栽培実証ほの設置(6a) ・農業機械の改良(動力運搬機、乗用草刈機) ・栽培マニュアルの作成	収益が見込める作物としての栽培体系の確立等により産地化が進み、取組目標を達成した。
				実施地区において、受益農業従事者以外に焼くよう作物の栽培に取り組む農業従事者が1人以上増加(人)	0	0	4	5	5	100.0%		

産地活性化総合対策事業の薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業(地域特産作物新需要創出産地支援事業)に関する事業評価票

都道府県名	事業実施主体名	対象 品目名	事業 実施 年度	成果目標の達成状況(成果目標:栽培面積(a)、生産量(トン))														事業内容	地方農政局長の意見
				基準年 平成28年		1年目 平成29年		2年目 平成30年		3年目 令和元年		目標年 令和2年		目標値		達成率 (%)			
				栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)		
山口県	山口県	トウキ(茎葉)	H29	0	0	3	0.1	3	0.1	2	0.02	2	0.02	15	1.5	13.3%	1.3%	・検討会の開催 ・機能性成分の分析 ・需要の創出・拡大のための調査 ・マッチングの推進	目標量に見合った量の需要を確立できていないこと等から栽培面積を増やすことができず、目標の達成に至っていない。 今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。

都道府県名	事業実施主体名	対象 品目名	事業 実施 年度	成果目標の達成状況(成果目標:栽培面積(a)、生産量(トン))														事業内容	地方農政局長の意見
				基準年 平成28年		1年目 平成29年		2年目 平成30年		3年目 令和元年		目標年 令和2年		目標値		達成率 (%)			
				栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)	栽培面積 (a)	生産量 (トン)		
徳島県	株式会社みのりの森	キヌア(粒) キヌア(葉)	H29	23	1.4	26	0.6	150	3.9	231	11.8	855	74.9	600	28	142.5%	267.5%	・検討会の開催 ・種苗供給体制の整備(3a) ・展示ほの設置(10a) ・農業機械の改良(葉収穫機、色彩選別機) ・機能性成分の分析	優良種子の活用による安定した収量を確保できるようになったことや販路を確保したことにより、目標を達成した。

産地収益力増強支援事業（養蜂等振興強化推進事業のうち在来種マルハナバチの利用拡大支援事業）に関する事業評価票

都道府県名 (産地名)	協議会名	事業実施年度	具体的な 取組内容	取組の実施時期、 事業量等	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況				事業内容	地方農政局長等 の意見
						基準年 (計画策定時) 平成27年	目標年 令和2年	目標値	達成度 合		
高知県	高知県香 南地域ト マト在来 種マルハ ナバチ利 用拡大協 議会	平成28 年度	・在来種マルハナバチの定着に向けた検討会の開催 ・展示ほ等を活用した現地講習会の開催 ・利用技術マニュアルの作成、普及 ・在来種マルハナバチの導入実証	・在来種マルハナバチの利用定着に向けた検討会の開催（9～10月・2回） ・展示ほ等を活用した現地講習会の開催（8～3月・4回） ・利用技術マニュアルの作成・普及（8月・1つ） ・在来種マルハナバチの導入実証（4～3月、61箱）	在来種マルハナバチの利用農家数を80.8%以上とする。	20% (25戸中 5戸)	87.0% (23戸中 20戸)	80.8% (26戸中 21戸)	110.2%	継続的に在来種マルハナバチの特徴や取り扱い方法、利用上の注意点等の周知を図り、また、JA営農指導員や農業振興センター普及指導員が管理状況の把握や助言を行ったこともあり、試験利用の農家において飛翔が良いことが確認できたことから、本格利用が進み、目標達成となった。	事業実施計画に沿った取組により、利用農家の割合が増加し、目標を達成することができた。